



2018年度 秋季 審判講習会

2018年10月7日
麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部

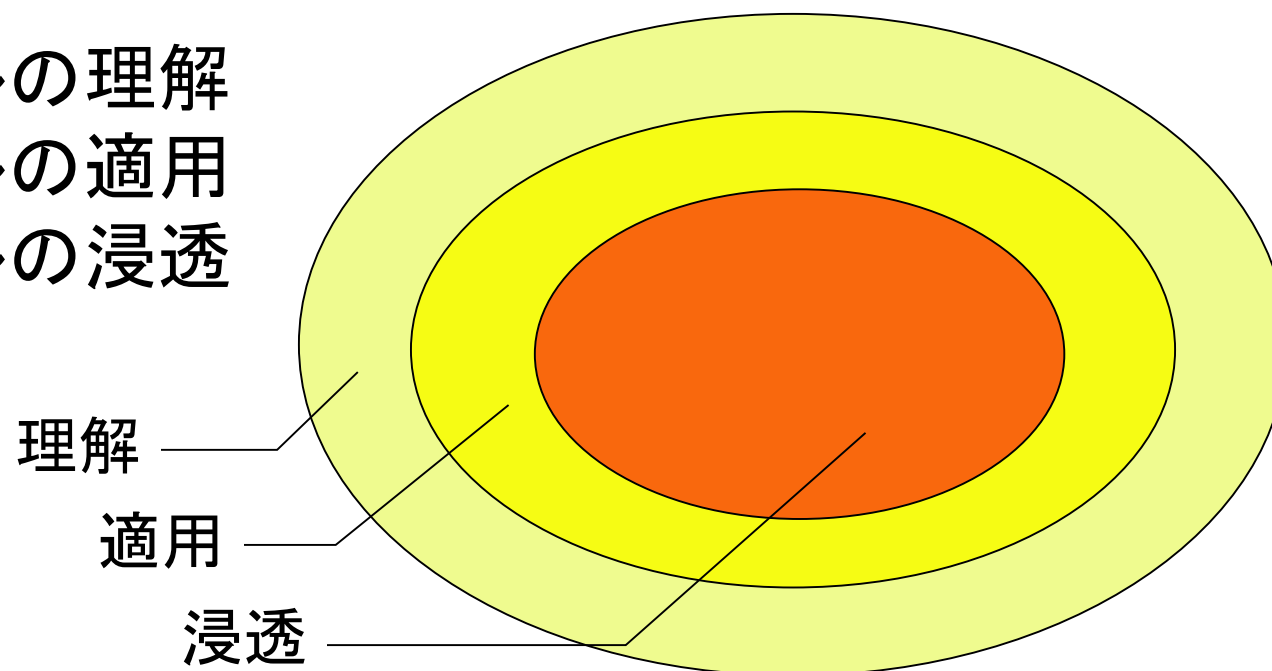
本日の流れ

テーマ

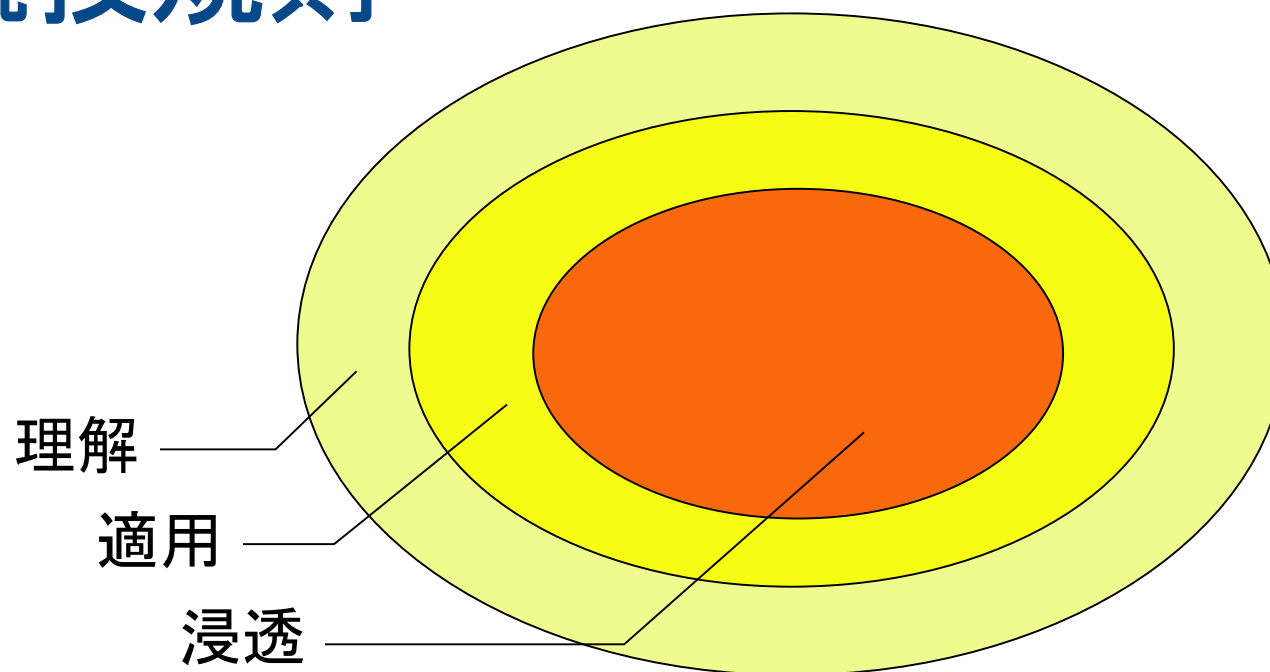
「競技規則の適用と浸透」

～一歩先行くレフェリーを目指して～

1. ルールの理解
2. ルールの適用
3. ルールの浸透



競技規則



理解：競技規則を、その理念や背景も含め正しく理解すること。
適用：目の前の事象に規則をスピーディかつ正しく適用すること。
浸透：毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者にルールを浸透させること

★理解できていても適用できないとダメ！★
★そして、それを浸透できないとダメ！★

1. ルールの理解

2018－19

サッカー競技規則改正内容の確認

2018-19 サッカー競技規則改正の主な内容

①第1条 競技のフィールド

- ・エリアを囲むラインはそのエリアの一部であるので、長さはラインの外側からのものである
- ・ペナルティーマークの長さは、ゴールラインの外側の端からペナルティーマークの中心までである

②第7条 試合時間

- ・延長戦のハーフタイムのインターバルでは、短時間(1分間を越えてはならない)の水分補給時間を取ることが認められる

③第12条 ファウルと不正行為(直接フリーキック)

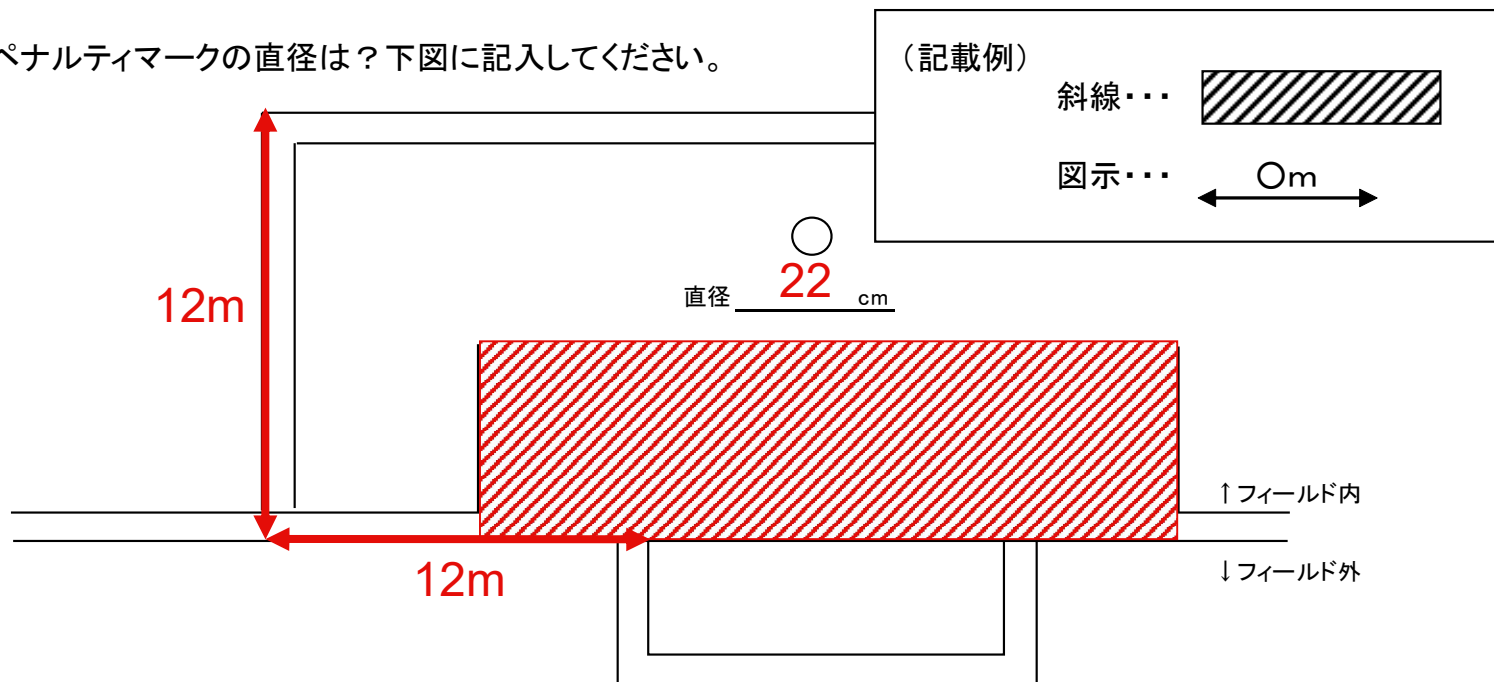
- ・人をかむ、または人につばを吐く
- ・ボール、相手競技者または審判員に対して物を投げる、あるいは、持ったものをボールに当てる

2018-19 サッカー競技規則改正の主な内容

①の参考

競技のフィールド

- ①ゴールエリアの範囲はどこか。記載例を参考に下図に斜線で示してください。
- ②ペナルティエリアを描くとき基準とする距離について。「どこからどこまでか」そして「何メートルか」を、記載例を参考に、ゴールライン上とゴールラインと垂直なペナルティライン上にそれぞれ図示してください。(少年基準)
- ③ペナルティマークの直径は？下図に記入してください。



2018-19 サッカー競技規則改正の主な内容

②の参考 (川崎市4種の場合)

WBGT 25℃～28℃の場合			
	クーリングブレイク	飲水タイム	ミニ・クーリングブレイク
時間	失われた時間確保	ランニングタイム	ランニングタイム (1分)
テント等	日陰を設ける	無し	日陰を設ける 【チームで準備】
指示	○	×	×
飲水	○	○	○
体を冷やす	○	×	○
その他	—	—	ベンチにテント等を置けない場合は日陰(テント等)迄移動可

WBGT 28℃～31℃の場合			
	クーリングブレイク	飲水タイム	ミニ・クーリングブレイク
時間	失われた時間確保	ランニングタイム	ランニングタイム (1分)
テント等	日陰を設ける	無し	日陰を設ける 【チームで準備】
指示	○	×	×
飲水	○	○	○
体を冷やす	○	×	○
その他	—	—	ベンチにテント等を置けない場合は日陰(テント等)迄移動可

WBGT 31℃以上の場合
<ul style="list-style-type: none"> ・キックオフ時にWBGT 31℃超の場合 =>WBGT 31℃以下になるまで開始を待つ ・WBGT 31℃超が長時間続くと想定される場合 =>当該試合を「延期」とする

2018-19 サッカー競技規則改正の主な内容

- ④第12条 ファウルと不正行為(懲戒措置 アドバンテージ)
 - ・決定的な得点の機会の阻止と判断される反則がありながらもアドバンテージが適用されたその結果として得点となった場合、その反則を犯した競技者は反スポーツ的行為で警告される

- ⑤第12条 ファウルと不正行為(懲戒措置 警告となる反則)
 - ・別々に2つの警告となる反則が起きたならば(2つが近接している場合であっても)、2つの警告となる反則が犯されたとすべきである。

2. ルールの適用

【判定トレーニング】

ご自身がレフェリーになりきって、
次のプレーを観ながら判定を下してみてください。

3. ルールの浸透

【ディスカッション】

・ルールの浸透

「毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者に
ルールを浸透させる」

競技者にルールを浸透させる

⇒ 競技をコントロールする = マネジメントする

サッカーという競技をマネジメントする

ために、大切にしていることは何か。

<マネジメントに必要な基本動作>

【笛の吹き方】

- ・フーではなくトウー！
- ・笛にメリハリを（重大なファウルは大きさと寄せ！）

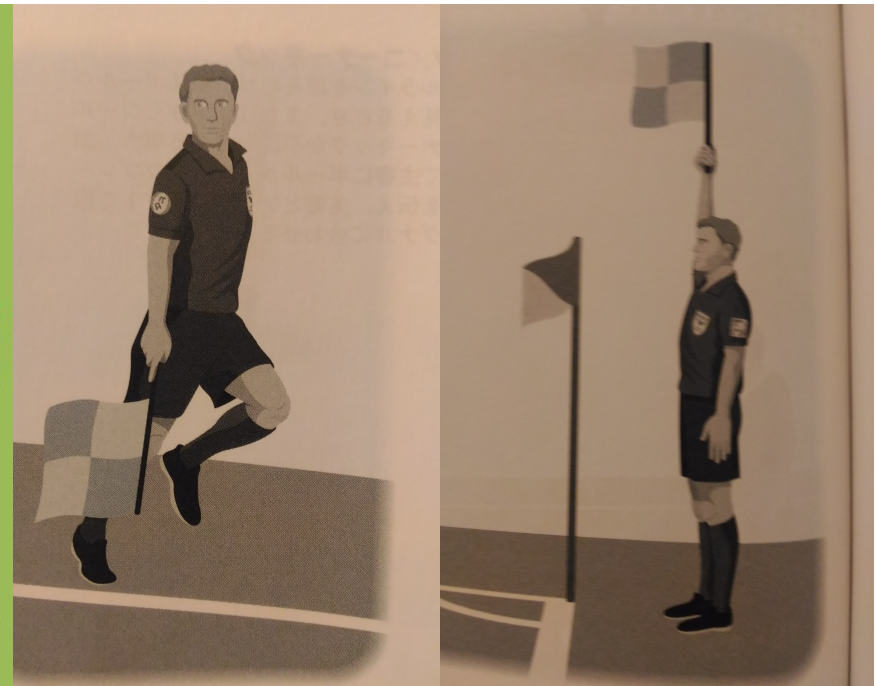
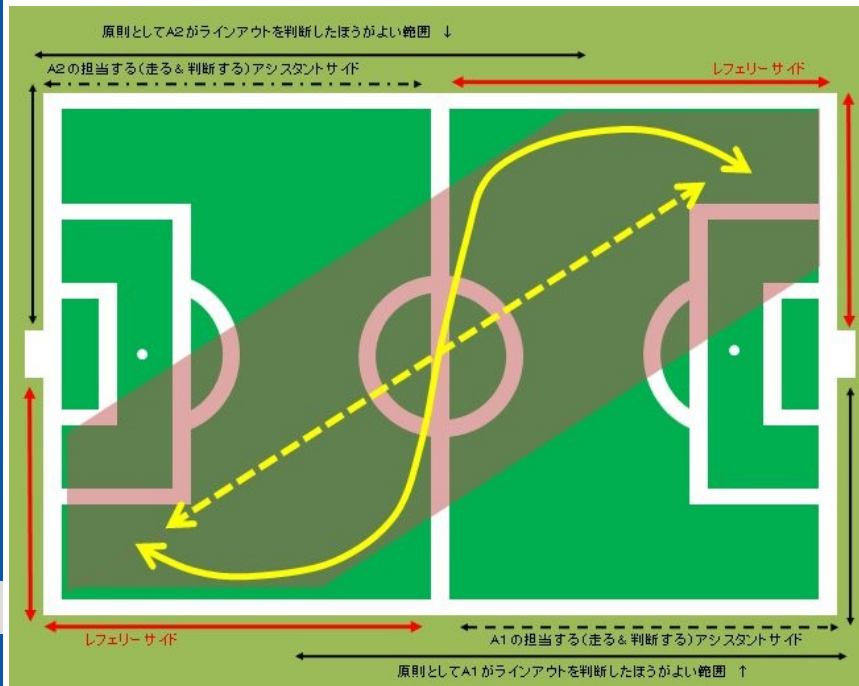
【旗の振り方】

- ・旗は手の一部（主審を的確にサポート）



【走り方】

- ・対角線式審判法
- ・ただし、一番大切なのは近くでジャッジすること！
- ・副審は基本ラインキープ。シュート時はゴールラインまで走る。
- ・旗は常に中に(サイドステップを多用すること)



ルールの浸透＝競技のマネジメント

<マネジメントのシーン>

- ・試合前(フィールド・メンバーチェック～入場)
- ・キックオフ
- ・競技者の交代
- ・競技者の負傷
- ・フリーキック
- ・ゴールキック
- ・コーナーキック
- ・スローイン
- ・ドロップボール
- ・ペナルティキック
- ・試合終了(退場～審判報告書)
- ・ファウル
- ・アドバンテージ
- ・懲戒処置
- ・得点
- ・競技者
- ・テクニカルエリア
- ・時間
- ・フィールド周辺
- ・レフェリーチーム
- etc.

ルールの浸透＝競技のマネジメント

<マネジメントのシーン>


- ・試合前(フィールド・メンバーチェック～入場)
- ・キックオフ
- ・**競技者の交代**
- ・**競技者の負傷**
- ・**フリーキック**
- ・ゴールキック
- ・コーナーキック
- ・スローイン
- ・ドロップボール
- ・**ペナルティキック**
- ・試合終了(退場～審判報告書)
- ・ファウル
- ・アドバンテージ
- ・懲戒処置
- ・得点
- ・競技者
- ・テクニカルエリア
- ・時間
- ・フィールド周辺
- ・レフェリーチーム
- etc.

【競技者の交代】

- ・プレーの停止中
- ・交代が行われることについて主審に通知する
- ・主審の承認を得てフィールドから離れる
- ・交代要員は、
 - ①ハーフウェーラインのところから
 - ②交代する競技者がフィールドの外に出た後
 - ③主審の合図を受けてから

フィールドに入ることができる。





やってみましょう！

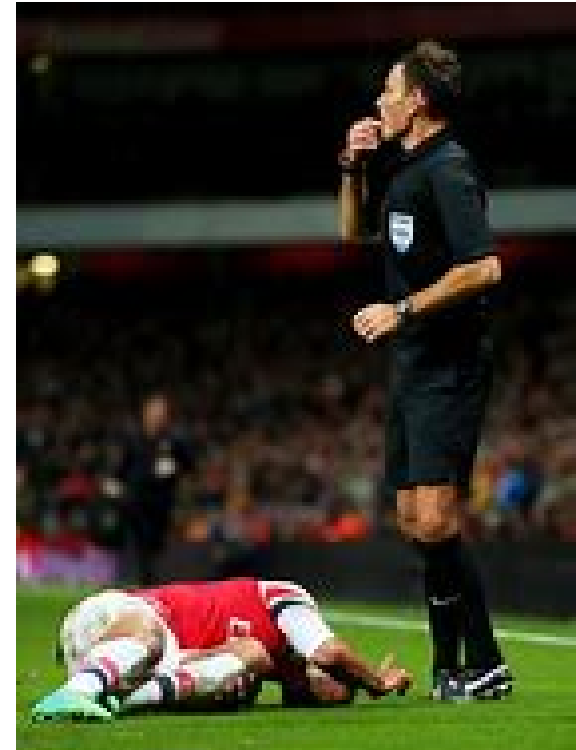
- 主審
- 副審
- 第4審
- 交代して退く競技者 (No.5)
- 交代要員 (No.16)


(マネジメントのひと工夫)

- ・交代する競技者が外に出て、
主審の合図を受けるまで入れない。
⇒「主審が合図したら入ってね」と伝えておく
- ・試合の状況によっては、
時間稼ぎをさせてはいけない。
⇒「近いところから出よう」と声をかける
- ・試合の再開のタイミングを間違えると
試合に影響を及ぼすことがある。
⇒交代要員がポジションに付くまで、
再開を待ってあげるくらいの余裕を持つ。
(追加タイムに反映させればよい)

【競技者の負傷】

- ・重傷か軽傷かを判断
- ・重傷⇒プレーを停止して
フィールドから退出させる
- 軽傷⇒アウトオブプレーまで
プレーを続ける
- ・軽傷時
 - ①プレーを続けられるかを聞く
 - ②すぐに復帰が不可能であれば、時計を止め、
ドクターまたは担架を要請する
 - ③フィールドの外へ退出させる
 - ④プレーの再開後、主審の合図を受けてから
復帰する





やってみましょう！

- 主審
- 第4審
- 負傷した競技者
- チームスタッフ

(マネジメントのひと工夫)


- ・負傷した競技者を退出させるためにスタッフを呼んだが、すぐに立ち上がって復帰した。
⇒スタッフを呼んだら必ず退出しなければならない。
拒んだら反スポーツ的行為で警告される！
- ・負傷した競技者が出血していた。
⇒確実にフィールドから退出させる。
止血状況は他の審判員に確認させる。
- ・ゴールキーパーが負傷した。
⇒フィールド内での治療は可能。
復帰するか、復帰できず交代するまで、
試合を止めて構わない。

【フリーキック】

- けが、もめ、懲戒対応
- なければ
クイックリスタート可能
=ポイントへ寄らない



- クイックリスタートないが、主審の介入不要
=ポイントへ寄らない
- 再開位置の確定、壁下げ、壁の中へ注意 等必要
=ポイントへ寄る =ゲームを止める
- 再開の合図を待つように伝える
- ボールの位置や壁の位置を決める
- 壁の中での競り合いに対し予防措置を行う
- 副審とポジションを確認し、笛の合図で再開



やってみましょう！

- 主審
- 副審
- ファウルされた競技者
- 壁となる競技者

(マネジメントのひと工夫)

- ・7mの距離を測るとき、
 ボールを動かされないように
⇒ボールを監視しながら、
 後ろ向きに歩測を行うと確実。
- ・歩測の仕方によって距離の説得力が異なる
 - ①ニアサイドのゴールポストに向かって
 - ②途中で止まらずに一気に測る
 - ③壁の選手がそろってから離れる
- ・壁の中での競り合いに対し予防措置をとる
「飛び出さないで」「手は挙げないで」「押さないで」

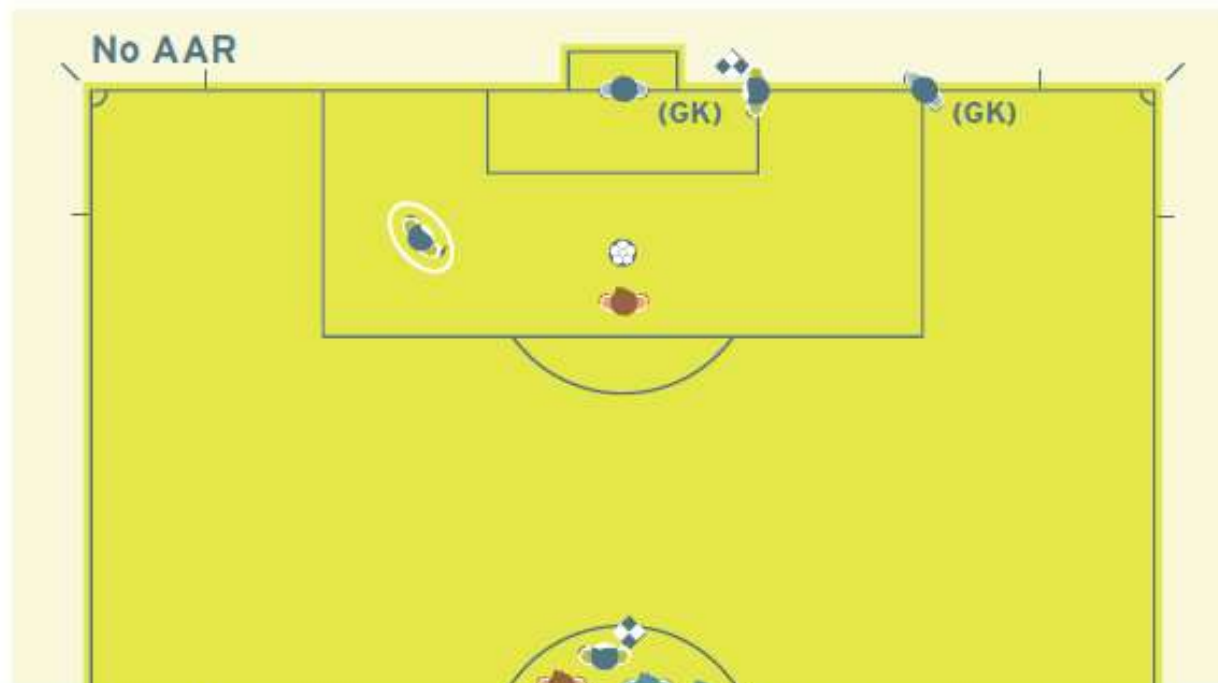
【ペナルティキック】

- ・コインをトスしてキックの順番を決める（勝ったほうが決める）
- ・コインをトスして使用するゴールを決める（コインに委ねる）
- ・人数を合わせる（終了時にフィールドにいた者のみ）
- ・キックの順が決まったらポジションに付く（次P参照）
- ・キッカーの背番号を記録する
- ・笛の合図でキックさせる
- ・キックの完了を確認する（次々P参照）
- ・反則がないか確認し、キックを記録する

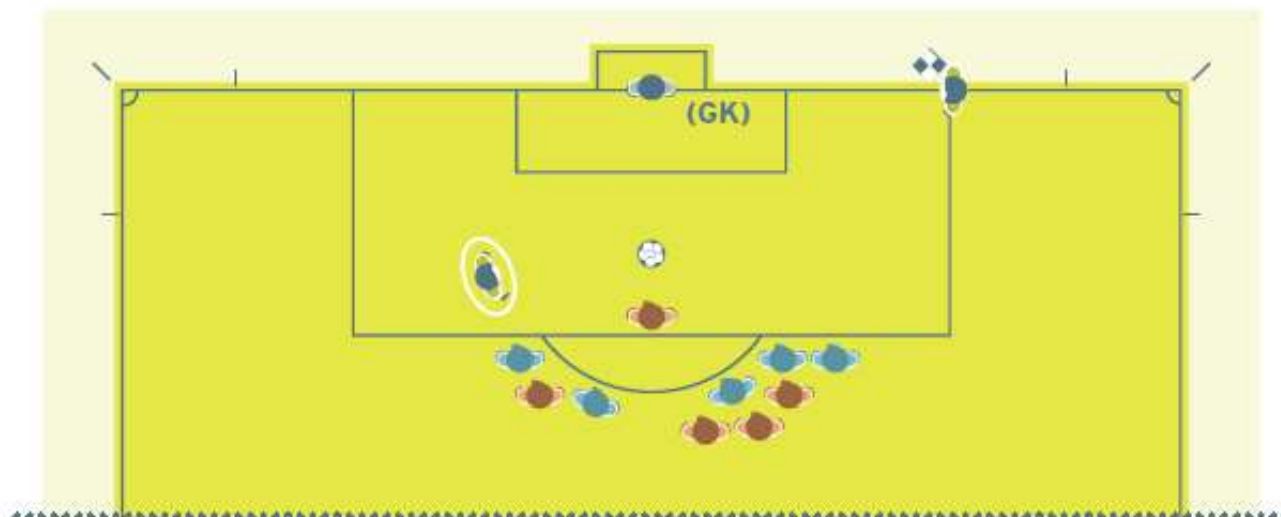


ポジションに付く

試合の勝者
を決める
ペナルティキック



試合中の
ペナルティキック



キックの完了

- ①ボールの動きが止まった時
- ②ボールがアウトオブプレーになった時
- ③反則があつて主審がプレーを停止した時

反則がなかつたか

- ①守備側の反則 ⇒ ゴール / キックを再び行う
※ゴールキーパーの反則でノーゴールの場合はさらに警告
- ②①がなく、
キッカーの反則 ⇒ すべて間接フリーキック
※フェイント、未特定キッカーはさらに警告

ペナルティーキックの結果

	ゴール	ノーゴール
攻撃側競技者による侵入	キックを再び行う	間接フリーキック
守備側競技者による侵入	ゴール	ペナルティーキックを再び行う
ゴールキーパーによる反則	ゴール	再び行う+警告
ボールが後方にけられた	間接フリーキック	間接フリーキック
不正なフェイント	間接FK+警告	間接FK+警告
特定されていないキッカー	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告
<u>ゴールキーパー</u> <u>およびキッカーが</u> <u>同時に反則</u>	<u>間接フリーキック</u> <u>+キッカーに警告</u>	<u>ペナルティーキックを再び行う</u> <u>+キッカーとゴールキーパーに</u> <u>警告</u>

次の試合の、レフェリーを見て
感じることはありますか。

- ・U12ワールドチャレンジ2018決勝
FCバルセロナ v アーセナルFC

サッカーは選手のもの。
選手がサッカーに向かずレフェリーに向いたら、
それは決して、サッカーと呼ぶことはできない。

主な活動内容

- (1) 審判講習会(4月)
- (2) 春季低学年大会麻生地区予選
- (3) NKリーグ5年生大会
- (4) 審判講習会(9月)
- (5) NKリーグ3年生大会
- (6) 新人戦5年生大会麻生地区予選
- (7) トレセン大会対応

麻生区審判部の2018年度目標

「やって、示そう！」

- ・・・麻生区を代表するレフェリーを多く輩出するために、
自らが麻生区を代表するレフェリーとして認められること

麻生区レフェリーサポート制度について

一緒に、レフェリー、やろう！

麻生区では、主催大会を数多く実施しています。子どもたちの熱い戦いをサポートし、成長を支える黒子となるのがレフェリーです。

ぜひ私たちと一緒に、麻生区のジュニアサッカーを盛り上げませんか！

<募集概要>

- 主管 : 麻生区ジュニアサッカー連盟（以下「連盟」） 審判部
- 活動内容 : 連盟主催試合・トレセン試合の審判対応、審判講習会補助 等
- 参加要件 : 連盟所属チーム関係者（コーチ、父母、選手、OB）であり、
所属チームの了承のもとで活動を許される方。
サッカー審判員資格を保有している方。（今後取得を検討されている方も応相談）
- 応募方法 : 連盟審判部 田中までメールにて応募ください becks.hajime@gmail.com

ご参加いただき、ありがとうございました！



麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部 田中

ルールに関するご質問等お気軽にお問い合わせください
becks.hajime@gmail.com